

2019年8月7日

眼科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「新規刺激による視覚誘発反応測定装置と人工知能を用いた緑内障と正常者との判別」への協力をお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2015年1月1日から2017年12月31日までに当科において視覚誘発反応測定装置を用いた検査を施行された患者さんを対象にします。

**研究期間：**倫理審査委員会承認日～2021年3月31日

### 研究目的・方法：

緑内障の診断には、視野検査（見える範囲を調べる検査）や光干渉断層計（視神経や網膜の厚さを調べる）を施行させていただくことが必要となります。しかし、視野検査は患者さんの体の状態が悪かったりなどの状況により、うまくできたりうまくできないということがあり、結果をわれわれ医師が鵜呑みにできない場合も多く存在します。また光干渉断層計での異常は、障害が生じた結果であるので必ずしも早期緑内障の変化をとらえているとは限りません。

最近では、そうした状況を踏まえ、患者さんの状態と関係なく、緑内障の状態を正確に把握することの可能な検査機器が研究段階ではありますが開発されつつあります。

視覚誘発反応測定装置は、眼の奥（眼底）にある網膜（カメラに例えるとフィルムにあたる部分）の機能を調べる検査です。眼の黄斑部（網膜の中心部で視力や色覚に関与）を中心に複数部位から局所の応答（反応）を記録し、一般の検査では診断が困難な症例で、有用な網膜の情報を得ることができます。また、本装置では従来の網膜電図ではとらえることが難しいとされてきた緑内障変化の主体となる網膜神経節細胞の由来の応答を含む二次核成分の記録が可能です。

今回、より精密に網膜神経節細胞の由来の応答を記録するために新たな刺激法の開発ならびに人工知能を用いた診断法の確立ならびに臨床応用に向けて、2015年1月1日から2017年12月31日までに各研究参加施設において視覚誘発反応測定装置を用いた検査情報を対象とします。

その結果は、緑内障の早期発見や治療に役立つ可能性があり、また得られた情報を眼科診療従事者で共有することで日常診療にも大いに役に立つと考えています。

### 研究に用いる試料・情報の種類：

取得する情報は、電子カルテより年齢、性別、患側、全身疾患の有無、緑内障病型、抗

緑内障点眼薬、視力、屈折、眼圧、細隙灯所見、眼底、光干渉断層計、視野、多局所網膜電図および治療法です。

今回の研究で新たに採取する試料はありません。

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会および研究参加施設の倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 眼科

電話番号 058-230-6288

氏名：望月 清文

### 研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 眼科

氏名：望月 清文

### 参加施設

東邦大学医療センター 眼科	職名：教授	氏名：富田 剛司
東邦大学医療センター 眼科	職名：准教授	氏名：石田 恭子
井上眼科病院	職名：理事長	氏名：井上 賢治
ツカザキ病院 眼科	職名：主任部長	氏名：田淵 仁志
兵庫県立大学工学研究科電子情報工学専攻	職名：教授	氏名：上浦 尚武
兵庫県立大学工学研究科電子情報工学専攻	職名：修士	氏名：森田 翔治
有限会社メイヨー 技術部	職名：部長	氏名：長坂 英一郎
松波総合病院 眼科	職名：医員	氏名：諸戸 尚也
JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院	職名：医員	氏名：田中 大貴

### 研究代表者

研究責任者 岐阜大学医学部附属病院 眼科 准教授

氏名：望月 清文